

奥穂高山行報告

【日時】 11月1日（金）前泊～4日（月）夜

【天候】 晴れ

【行程】 1日 沢渡 P にて仮眠→2日 6:30 タクシー→7:00 上高地→10:00 横尾→11:20 本谷橋→13:30 涸沢着

※西岡さん・土屋さんは1日朝発、横尾山荘泊で一足先に涸沢着

3日 6:45 涸沢発→7:50 ザイテングラード取り付き→9:50 穂高岳山荘着（冬季小屋デポ）→奥穂高岳ピストン→12:30 穂高岳山荘着（大休憩）→15:30 涸沢 BC
4日 7:30 涸沢発→往路を戻る→14:00 沢渡 P 着→入浴・食事・帰葉

【参加メンバー】 CL 佐藤健、SL 土屋、西岡、松本、小宮山、宮城、岩井、山口、下牧、金、秋本（記録）

【内容】

台風でなかなか山に行けずに過ごした9-10月が終わって、1発目の山行が雪山。昨年からの雪山デビューした私は、まだ荷物を準備するにもあたふたとし、雪山のザックの重さにびっくりしつつの、初めての穂高でした。天候に恵まれ、快適な登山が楽しめました。

千葉を夜発、沢渡で仮眠をとって、初日は涸沢まで。前半は、林道のような道でのんびり歩き、徳澤園でソフトクリームを食べてゆったり過ごすという、穂高の右も左も（前も西も北も奥も）わからない私には、思っていたのと違う出だしに拍子抜けしました。

...が、諸先輩がたからの、「大丈夫、横尾を超えて、本谷橋を超えたらどんどん辛くなるから!」という嬉しい言葉のとおり、屏風岩を眺めて、本谷橋を渡ると、勾配は急になり始め、息があがります。そうは言っても、道は整備されており、広く、久しぶりの山歩きは、息も絶え絶えになりながらもとても楽しかったです。なんとといっても、目の前には奥穂高岳。それと、涸沢で飲めるという生ビール!!

後半は空気も薄くなり、それぞれが思い思いのペースで涸沢に到着。西岡さん、土屋さんの先行組と合流し、テントを張ると、早速、涸沢ヒュッテに向かいます。

目的は生ビール。...ところが、小屋じまいを2日後に控え、人も少なくなった山小屋で樽は開栓されてはおらず、自販機の500ml缶とおでん(レトルト)をみんなで楽しみました。それはそれで、おいしかったです。金さんお手製のホットワインも登場。果物・スパイスの効いた味もさることながら、特大のワインボトル(右写真手前)を担いで山を登っていたことに驚かされました。テントに戻り、6-7人用のテントに11人がひしめ



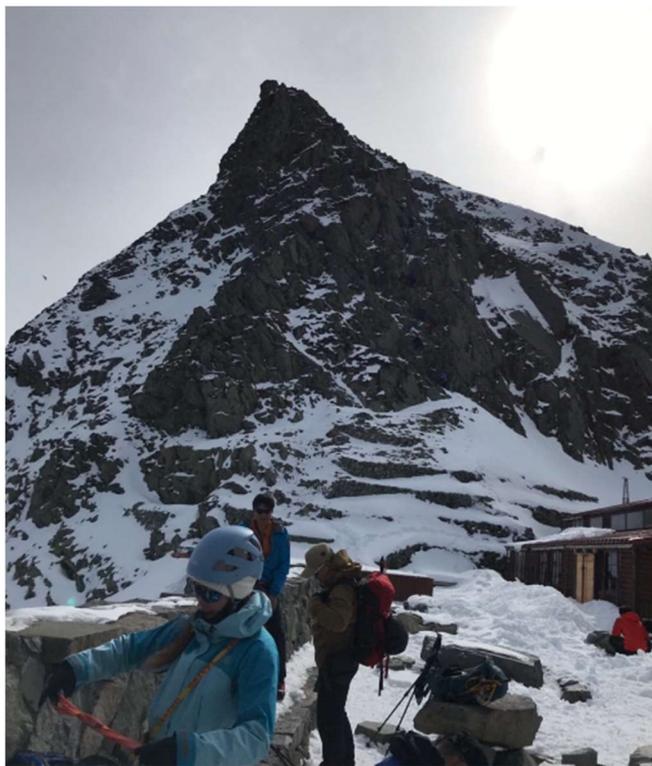
く夕ご飯が始まりました。松本さん考案?の山飯、ケサディーヤは、うっかり写真を撮り忘れましたが、大好評。冷えた体を温める肉団子鍋も美味しかった! 食後、2次会が片方のテントで行われましたが、翌日に備えて、早めに切り上げたようでした。



「 Morgenrotは6:10から」という小屋の看板どおりに、素晴らしい朝焼けを楽しんで、6:45 涸沢発。今回の山行目的のひとつ、冬季小屋へのデポの食料やガスを確認・準備し、土屋さんが背負子で背負い、他の人も多少手分けして荷物を持ちます。涸沢小屋の隣を通過して、ザ



イテングラードにつく少し前から雪が積もっていました（涸沢には、雪は全くなし）。残念ながら、下牧さんは、雪山講習前ということで、ここで引き返してテントキーパー。他のメンバーは、アイゼンをつけ（西岡さん・土屋さんはつけてなかったかも）、ザイテングラードに。難しくはなかったですが、高度感を感じるようになり、ドキドキしながら歩く部分もありました。穂高岳山荘に到着、冬季小屋に食料をしっかりとデポし、今回の目的完了。小屋の正面に見える、山頂に向かう岩壁が今回の核心部。そびえ立つ岩壁に、私は自信がないので、西岡さんに後ろについていただき、いろいろアドバイスをもらいながら歩きました。岩を登るときに、アイゼンの先端で立ち込めるようになった方が良いとのこと。なるほどなー。あんな細かい部分で立ち込むなんて、端から考えてなかったけど、言われてみればできそうだし、使える足場が増えそう。勉強になります。



私のゆっくりペースに付き合ってください、やっと、山頂につきました。山頂の展望は素晴らしく、槍も、ジャンダルムも、何もかもくっきり。富士山も北岳も見えました。記念撮影などをして、下ります。（宮城さんが心配して私の荷物を持ってくれました...!）ロープを出していただきながら、山荘に到着。優雅にお茶を飲み、下牧さんの待つ涸沢へと急ぎました。左の写真は穂高岳山荘からの核心部（手前が新人さんの山口さんです!）と、山頂からの絶景。





奥穂高登頂の緊張等々で、ぐったりしてしまい、ザイテングレードも過ぎてからはかなりのへとへとでした。やっとテントにつくと、下牧さんはとても暇だったとのこと。私は達成感と脱力感で、食担の小宮山さんが素早くご飯を炊き始めてくれるのをぼんやりと眺めていました。メニューは豚角煮(?煮豚?)、中華おこわ風混ぜご飯、ワンタンスープ。豚角煮が大人気で、一口いただきましたが、その間もずっとぼんやり。しみじみと、登れてよかったなあとぼーっとしていました。その後混ぜご飯を食べたら少し元気になり（お腹が空いていただけ?）、西岡さん・土屋さんの逸話などを聞きながら、楽しくすごしました。

天気予報では、朝は霧雨ということで、いろいろ濡らさないように対策をして就寝。ところが、起きてみると、山頂付近にうっすら雲がかかっている程度で、6:10になると、また朝焼けが、かなり綺麗に見えました。雲がかかっているのも幻想的です。

テント撤収・荷造りをして、下りはさくさくと。大量の人がいる上高地をとおり過ぎて、駐車場へ。温泉・御飯・大渋滞という秋



の定番コースを辿り、千葉についたのは23時過ぎ。

絶好の登山日和の中、奥穂に登ることができ、夜も楽しい、大満足の3日間でした。みなさん、いろいろと助けていただきありがとうございました。精進します。

↓奥穂初体験・ちば山新人などなど何かとフレッシュな皆さんの一言感想集
(佐藤リーダーから、2-3行で感想をと指示があったのですが・・・)

下牧さん

間近で見る穂高連峰は圧巻の景色でした。今回はザーテングラード取り付きまででしたが、来年は奥穂高岳の山頂に立つことが出来るように、雪山講習をしつかり受けたいと思います。リーダー、皆さん、ありがとうございました。

山口さん

こんなにもいい天候で山頂まで行けて、先輩方と一緒にだったので、安心感でとても楽しみながら登れました。最高の思い出になりました！

金さん

GWの雪の絶壁奥穂高を見た時に夏はともかく雪の奥穂高に登ることはないと思ってました。夏に登った時ですら怖かったのに、アイゼンつけて登るなんてなあと思いつつも、ノコノコ穂高岳山荘まで登ってしまいました。

みんなは楽しそうだけど、私一人ブルーな感じでした。

棄権しようかなあ、逃げようかなあと思ってると、その気配を察したのか佐藤さんがお目付け役に(笑)

絶対下を見ずに、佐藤さんに励まされながらヨタヨタと登る時の足の重たい事、何度もう無理と心の中で思ったか、わかりません。

初めての雪の奥穂高。光栄にも今シーズンの雪山初めが奥穂高岳になりました。シーズンの締めはGWの奥穂高岳になったらいいなと夢想(妄想!?)した次第であります。

松本さん

初めて奥穂高岳に登りました。涸沢への道中、足がつってしまい皆様に助けても

らって何とか登れました。

頂上からの景色はさすが日本で3番目の山という感じで圧巻でした。

テントでは山の会ならではの話しで盛り上がり、新旧メンバー混ざって話しは尽きず、とても楽しく過ごす事が出来ました。皆様、ありがとうございました。

以上